

第5回大四日市まつりなどのあり方を考える市民会議の概要

平成16年9月18日(土)13時00分～15時10分

市民から寄せられたパブリックコメントを紹介し、委員の意見を求めました。

■大四日市まつりにおける市民と行政の役割

■市民の参加・参画について

事務局の業務を気軽に助けられる仕組みがあればよい。

青年会議所との密接なリンクを考えていくべきである。

企業と学校の参加が増えるようにしていくべきである。学校については県の教育委員会を動かすべきである。

様々なボランティア団体の力を引き出していくことも大切である。

交通手段など、ボランティアが参加しやすい条件整備に努めるべきである。

情報を具現化し、かなり早い時期から学生に参加を呼びかけることが大切である。

地区中心の祭りに移行し、地区センターが中心になるべきである。

■行政の役割について

運営・資金面は現状を維持し、企画面では大胆に変革してほしい。

全市的な祭りであるため、市が関わるのは当たり前と考えるが、大々的に関わるのではなくポイントポイントで関わる形になっていけばよいのではないかな。

■まとめ

市民の参加・参画は年々レベルアップし、行政の役割は実現に向けた環境整備に特化していく形が望ましい。

また、今まで出された意見を盛り込んだ平成17年度以降の大四日市まつりに関する行事内容素案骨子を示し、次回、素案骨子について議論することといたしました。